

メディア掲載情報

媒体名	月刊 建材Navi
掲載号	10月号(No.215)
掲載日	2016年10月1日発行
掲載内容	粉体塗装ライン新設・アスレチックシリーズ第二弾について 他

住まいの階段総合メーカー —— カツデンアーキテック

スチール製室内階段の受注拡大で木部工場に最大長さ6m対応の「粉体塗装ライン」を新設、遊びながら運動能力が育つ「アスレチックシリーズ」発売



坂田清茂社長

カツデンアーキテック（坂田清茂社長、東京都台東区東上野2-14-1 マルコーセンタービル8F、03-5812-2291）は、昨年8月に「カツデンアーキテックベトナム工場」を開業し、主にASEAN市場をターゲットにした海外戦略を始動させたが、来年には新たに営業拠点を設置、ベトナム国内市場での需要開拓を本格化させる。

一方、日本国内では、スチール製のシースルー室内階段の受注増に対応して、スチール製品の「団地工場」につづき、アルミ製品を扱う「木部工場」にも、最大6mまでの長さにも応じられる「粉体塗装ライン」を新設し、シースルー室内階段の100%内製化を実現した。

また、住宅室内向けの新しいアイテムとして、壁・梁・天井に取り付けて、子どもたちの遊び心を刺激するユニークなプロダクト「アスレチックシリーズ」を開発、提案活動に力を注いでいる。これは子どもの成長に視点を置いた新しいアイテムで、室内で遊びながら体力の育成を図れるように工夫されている。

さらに、快適な暮らしの一端を担う癒し系アイテムとして商品化を進めていた、日本の生活・環境に寄り添った薪ストーブ「HOMRA（炎）」も、本格的に販売される。

このようにシースルー室内階段の開発を契機に事業領域を拡大してきた住宅インテリア向けスチール製品は、同社の基幹事業として成長を続けている。これに大都市部を中心に整備されつつあるコミュニティサイクルに採用されている景観配慮型サイクルスタンド事業を加えて、高品質・高デザインで他の真似のできないスチール製品事業の更なる拡大をめざしている。

——最近の新品開発、国内販売、海外展開の現況を坂田社長に聞く……。

坂田 「アスレチックシリーズ」は、昨年7月に第一弾の「うんてい」「のぼり棒」を発売し、今年8月に第二弾として「DECO」「らせんのぼり棒」「けんすい棒」の3製品を追加しました。子



どもたちの遊び場や遊具が、安全を理由に少なくなっている現状をみて、住宅内に遊び心とアクティビティをプラスした、遊具のようで、階段のようで、インテリアのようで、どれでもない、いまままで存在しなかったユニークなプロダクトとして開発しました。

今回のリオ五輪の100Mバタフライで日本新記録を出して6位入賞を果たした池江璃花子選手が幼少期に両親から「うんてい教育」を受けていたことを知りました。小さい頃からの「うんてい教育」は脳の動きをよくするだけではなく、握る力が鍛えられて運動能力が育つようです。子どもたちの運動能力の向上に効果が見込めるユニークな製品として「アスレチックシリーズ」の普及を進め、池江選手のようなオリンピック選手が増えるように応援をしたいとおもいます。

——東京オリンピックにも関連した話ですが、「サイクルスタンドD-NA」はどのような受注状況ですか？

坂田 ドコモさんの進める東京都の千代田区、港区、中央区、江東区のコミュニティサイクルにすでに「D-NAチェスタ」を数千台納入済みです。今後、横浜市や神戸市にも設置が見込める状況で、東京オリンピック関連や観光地でも「サイクルスタンド」の設置がさらに進むと期待しています。

——基幹商品のスチール製のシースルー室内階段の販売状況をお教えてください。

坂田 昨年度実績は月産240台と前年度比25%増加しました。今年度は月産250台を予想している。こうした需要増加への対応と、最近の住宅は天井が高く、従来の4.5mの長さでは間に合わないケースが増えてきたこともあって、これまで外注業者に依頼していた4.5mを超え



メディア掲載情報

媒体名	月刊 建材Navi
掲載号	8月号 (No.213)
掲載日	2016年8月1日発行
掲載内容	粉体塗装ライン新設・収納カウンター新発売について

る階段に対応するために、最大6mまでの長さに対応できる「粉体塗装ライン」を木部工場に新設した。今後、木部工場でもスチール製室内階段の生産を進め、シースルー階段の需要増に対応していく計画です。

——「ベトナム工場」はどのような状況ですか？

坂田 開設して1年を経過しました。いまのところサイクルスタンドや薪ストーブを日本向けに生産している状況です。ベトナムでも日本企業による大規模な住宅建設が始まっており、来年には営業拠点を設置して、ベトナム国内の需要開拓に本格的に着手する予定です。今後、ベトナム市場は高い成長が見込めると期待しています。

「アスレチックシリーズ」にシャボン玉をモチーフにした「DECO・バブルズ」や「うんてい」などを新提案



スペインのインダストリアデザイナーのマルセロ氏とコラボレーションしたアスレチックシリーズ

スペインのインダストリアデザイナーのマルセロ氏とコラボレーションした「DECO」に、シャボン玉をモチーフにしたカラフルな輪（粉体塗装鋼管）を不規則に設置して子どもの冒険心をくすぐる「DECO・バブルズ」、ねじれたパイプをたて・よこ・ななめに自由に組み合わせることができる「DECO・ツイスト」の2作品。

子ども・大人の体力づくりに役立つ「うんてい」・「けんすい棒」、天井までまっすぐ登れる「のぼり棒」、垂直なパイプにらせんパイプを組み合わせたジャングルジムのような「らせんのぼり棒」の各アイテムで構成する。本体は鋼製パイプをデザイン加工、粉体塗装したもの。カラーパリエーションは、シグナルレッド、ターキッシュブルー、ゲルプグリーン、308エローの全4色。

最大長さ6mまで応じられる省スペースでコンパクトな塗装ライン実現、厳しい品質管理や納期にも対応する

木部工場に新設された「粉体塗装ライン」は、ス

チール製室内階段の受注拡大で逼迫する団地工場の粉体塗装ラインをサポートする恰好で5月から稼働を開始した。鎌谷治仁住建事業部・木部工場長から説明を受けた。



鎌谷木部工場長

「これまで外注していた4.5mの長さを超える、最大長さ6mまで対応できる粉体塗装ラインで、ほぼ100%粉体塗装の内製化を実現できた。この結果、大手ハウスメーカーの室内階段や室内手すりの厳しい品質管理や納期により一層広えることが可能になった。団地工場と合わせて生産能力は倍増しており、今後のスチール製品の需要増加にも対応できる。

最大長さ6mまで応じられる省スペースでコンパクトな粉体塗装ライン



「粉体塗装ラインは、脱脂、リン酸鉄皮膜を行ない塗装の密着性をよくする前処理工程から始まるが、特長は6mの長さにもノズル噴射による前処理方法でスペースをとらないコンパクトな設計になっている。前処理後、プライマーによる下地防錆処理ブースに移され、最後に粉体塗装ブースで焼付・乾燥処理される。製品精度を維持するために、社内で独自の塗装技量訓練を実施しており、これにパスしたものが作業に当たっている。

「これまで鋼材および前処理剤が原因となる不良品は出ていないが、万が一の時に備えて使用した鋼材の管理番号、前処理材のロット番号などを邸ごとに管理している」

* *

2002年に業界初のノックダウン工法を採用したスチール製シースルー室内階段「オブジェ」の発売以来10数年を経つ。いまでは大手ハウスメーカーの間で、住宅の価値を高める「オンリーワン商品」として認知度を高めると共に、今後、新設住宅着工が減少する中でも、木製階段に対抗するリビング階段として成長が見込まれている。

